

# 令和元年度第1回 長南町小学校跡地活用検討委員会

## 会議概要

- 開催日時 令和元年7月31日(水) 13時30分から15時15分
- 開催場所 長南町役場分館第1会議室
- 出席者 (委員) 小橋会長、手嶋副会長、谷川委員、石井委員、中村委員、松崎委員、板倉委員、宮崎委員、向井委員、嶋野委員、三十尾委員、北野委員、今井委員、安田委員(14人)  
(オブザーバー) 長生地域振興事務所長 企画係 長田主事  
(町) 町長  
事務局：企画政策課 田中課長、三上課長補佐、渡邊係長  
(欠席委員) 川口委員、山本(美)委員、田中委員、高橋委員(4人)

- 検討内容 「旧長南町立豊栄小学校の活用提案について」

### ○検討方法

- ・説明資料に基づき各企業からプレゼンテーションの後、質疑応答を行い、長南町立小学校跡地活用基本方針に掲げる7項目を5段階で評価するとともに、自由意見を記載した。

### ○提案者

東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル23F  
株式会社マーキュリー  
代表取締役 林 正和  
(出席者)  
社長室長兼新規事業開発本部 高橋本部長  
新規事業開発本部 中野マネージャー

### ○会長あいさつ

長南町の廃校活用が各種メディアで取り上げられる機会も増え、町PRにもつながっているのではないかと思います。本日は4校目となる旧豊栄小学校の活用提案です。旧豊栄小は圏央道インターチェンジや高速バス停から近く、生活圏の茂原市にも近い好立地にありますので、立地する企業によっては町への波及効果が大きいのではないかと思います。本日はそれぞれの立場から積極的に意見をいただきますようお願いいたします。

## ○町長あいさつ

4小学校が閉校して2年4カ月が経過し、その間に3校に企業進出が決まり有効に活用されています。これも本検討委員会委員の皆様のご尽力によるところが大きいと心より感謝申し上げます。昨年8月末には旧長南小の活用について審議いただき、本校舎は4月からリングロー株式会社が「長南集学校」として、地域住民も利用できるパソコン教室などIT関係の施設として活用しています。一方、西側校舎については、外国人向け日本語学校の提案がありましたが、その後、入国管理局のビザの発給率が全国的に低く、学生数の確保に苦慮する状況が続いていたため、活用協議を一旦保留にしておりましたが、改善の兆しが見られないことから、先方のご理解をいただいたうえで活用を見送る事としたところです。西側校舎については今後もPRを続け、有効活用していただける企業を探したいと考えております。廃校4校がそれぞれ特色ある使われ方により、末永く町の活性化につながるような事業展開が継続することを願っていますので、委員の皆様からご意見をいただき、その結果をいただいた上で、私としての判断をしていきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

## ○企業からの活用提案

### 《提案企業の会社概要》

- ・設立年月日 平成18年11月21日
- ・資本金 5,000万円
- ・売上高 121億円(2018年9月期)
- ・従業員数 3,046名(2018年5月1日時点)
- ・事業内容 セールスプロモーションに特化した人材サービス、エージェント派遣、アウトソーシング、コンサルティング(大型家電量販店や携帯電話ショップ等でのセールスプロモーション(販売促進)事業の柱としている。)

## ○提案内容(概略)

### ①学校法人立専門学校の新設

- ・2年制定員320名

### ②学校法人 通信制高等学校 長南茂原校の新設

- ・定員300名
- ・年間10日～30日程度の登校(スクーリング)で高卒資格を取得できる
- ・何らかの問題(身体的、精神的疾病、人間関係)を抱える生徒を対象に、高卒資格を取得し将来に繋げる教育を実践することを主な目的とするが、登校日数が少なくても卒業が可能なので住まいが遠方の生徒でも入学でき、自分に合ったカリキュラムの授業を選択できる

- ・(株)マーキュリーでは、東新宿に統括本部を置き、現在全国 4 拠点で校舎を運営し約 100 名が在籍している

#### ◇共通事項

- ・企業として人材育成に取り組んできた中で、社会を生き抜く人材育成、未来の子どもたちのためになる新しい教育の場となる学校運営を目指す
- ・長南町は空港とのアクセスがよく、全国からスクーリングの学生を呼び込み、地域活性化に寄与できる
- ・通常の近隣生徒の通学はスクールバスを検討する（バスの購入、レンタル、委託など）
- ・雇用創出は当初 2 名程度を現地採用し、学生数の増加に合わせて増員する
- ・校舎は南側を通信制高校、北側を専門学校及び宿舎として活用し、地域交流スペースも設け開かれた学校を目指す
- ・学校施設は災害時の避難場所、選挙投票所、地域行事やイベントなどの町民利用を優先する
- ・地域住民との交流イベントや住民が自由に受講できる IT 特別講座等を開催する
- ・多種多様な企業や学校と連携し、特産品の PR、商品開発にも取り組む
- ・専門学校設置には、借用決定後に千葉県へ相談し、申請、認可が必要で、その際は専修学校設置基準に基づき 20 年以上の施設使用権の確約が必要となる

※詳細は説明資料参照

#### ○質疑応答要旨（Q 委員/A マーキュリー）

- Q. 資料 P14 の近隣大学と連携した水耕ソーラーシェアリング（水耕栽培）については具体的な話が進んでいるのでしょうか？
- A. 旧豊栄小学校をお借りできるようになった場合は、すぐに行っていただけるように担当の教授と具体的な話をすでにしています。
- Q. 地域特産品の宣伝、PR については御社のノウハウを活用して是非お願いしたいが、商品開発については 6 次化していくということでしょうか？2 次産業の加工、3 次産業の流通販売への結び付けは大変だと思うが、具体案がありますか？
- A. 農業にはそれぞれの課題があり簡単なことではないと思いますが、地域の特産物に新しい加工をするなど、新潟の専門学校にお願いして考えてもらっているところです。地域の物をどう活かしていくか考えていくので、皆様にもご指導をお願いしたいと思います。
- Q. 認可の関係について、通信制高等学校は比較的早いスケジュールで開校でき

るようですが、専門学校については県の認可がおりないことはないですか？

A. どのような学校であっても、認可日まで 100%認可されるとは言えません。ただし、今回は県内にある専門学校と全く違う分野での申請になりますので、事前によく相談させていただきご指導の通り進めれば、その可能性は高いと思います。誠実に取り組んでいきたいと思います。

Q. 定員が専門学校 320 名、通信制高等学校 300 名とのことですが、実際にそれだけの人数が集まるのでしょうか？

A. 今までは集めてきました。確実に集まるとは言えませんが、教育の分野と就職先によるところが大きく、色々な企業とも会い、興味を持っていただいているので、就職先も含めてお約束を守れるようにしていきたいと思います。

Q. 資料 P12 にある既存 4 校舎の通信制高等学校の入学者数、卒業者数はどの位でしょうか？

A. まだ開校 2 年目ですが、通信制の高校は転校生がいるので初年度から卒業生がいます。実質的には一番大きな校舎で生徒が 60 人。今年は約 30 人が卒業し、大学進学が 15 人、専門学校進学が 8 人、就職が 3、4 人でその他が数名です。

Q. 専門学校を設置する場合の千葉県の基準をみると、地方公共団体の校舎や校地の借用にあたっては 20 年以上の使用権を取得するという条件があるが、町との事前協議で借用できる前提になっているのでしょうか？また、無償貸与か有償貸与かについてはどうでしょうか？

A. まだ協議していません。これからの協議となります。

Q. 定員の専門学校 320 名、通信制高等学校 300 名について、何年目で定員を満たすといった年次計画はあるのでしょうか？

A. 開校から 3 年目で収容定員を集める目標としています。採算ベースは別の問題になりますが、100~120 名程度が採算ベースになりますので、定員を目指しつつ、最初は 20 名ずつからスタートしていきます。

Q. 収支計画について説明してもらえますか？

A. 通信制高等学校については、1 年目に 20 名、2 年目にプラス 20 名、3 年目にもプラス 20 名、3 年で合計 60 名が集まるという試算です。60 名が収支の一つの目安となります。専門学校については、1 年目に昼間部 20 名と通信制課程 20 名の計 40 名、2 年目も同じく 40 名、2 年間で 80 名集まると試算し、損益分岐点は概ね 50 名位となり運営可能になります。この試算には県の補助金を算入していませんので、さらにプラスが見込まれます。当初から大きく 100 名規模でスタートせ

ず、着々と増員することで、事業として成り立つという計画です。この試算は事業の採算性を図るための計画上の人数となります。

Q. 先程、学校法人の認可に 20 年の使用権が必要であるという件について、町長はお考えがありますか？

A. (町長) 町に提案をいただき、内部で十分協議のうえ、通信制高等学校と専門学校としての活用を前提に検討委員会へお諮りしておりますので、20 年の使用については協力していく考えです。

Q. 学生の宿舎となるエリアが狭いように感じるが、この人数がスクーリングの際に宿泊できるでしょうか？

A. 建築士に現場を見せて、男性 40 人、女性 20 人が宿泊できるスペースと浴室を検討しています。スクーリング 1 回当たりの人数は 30~40 人程度となりますので大丈夫です。

Q. 年間で何日くらい稼働して、何名程度が使用するのでしょうか？

A. 常時通学者は日によって変わりますが 5 人から 40 人位です。スクーリングは 20 人から 30 人が一組で 1 回あたり 4、5 日間となり、生徒数が増えれば回数も増えます。町の行事等がある場合は日程を外すよう調整できます。

Q. マーキュリー社では人材サービス、エージェント派遣、アウトソーシング、コンサルティングを手掛けているとの事ですが、売上げ 121 億円の比率はどうなっていますか？

A. ほとんどがアウトソーシングで店舗への派遣となります。

Q. 3 千名ほど従業員がいるそうですが全員正社員ですか？

A. はい。もちろん退社する方や中途採用者もあります。

Q. 資料 9 のセールスプロモーションについて、マーキュリーには家電量販店に派遣する販売員専門の教育者がいるのですか？

A. 会社組織の中に人材戦略本部の育成部という部署があり、その中の SP ラボと呼ばれている部門で育成を行っています。

この育成や研修を、長南町の廃校活用の一部で行いたいという考えもあります。

Q. 資料 P20 専門学校設置予定学科の通信制について、通常の一般教養などはないのでしょうか？

A. こちらは高等学校ではなく専門学校となりますので、専門学生が通信制課程と

して入学するものです。専門学校の通信制課程に関しては、「昼間部と同様の分野であること」が原則ですので、その通りとなります。通常の一般教養については、授業はどの科にも置く予定です。

Q. 御社ホームページを見ると、売り上げが年々増加している急成長企業だと思えますが、売り上げを伸ばしている要因は何でしょうか？また、中長期的には現在人材開発等に取り組まれていると思いますが、将来的な展望はどのように考えているのでしょうか？

A. 急成長の要因は、社長の取り組みが早く同業他社と比べてスピードと方法が違うのではないかと感じています。携帯電話の使い方を超えて、IT 機器としての使い方のインストラクター人材は不足していますので、そのような方向への可能性はあるのかもしれない。

#### ○各委員からの意見

- ・ 早急に学生募集をしないで段階的に進めるところがよい。
- ・ 通信高校については問題ないが、専門学校が学生を集められるのか？
- ・ 少子高齢化の今、高校生も減少傾向にあり、果たして生徒が集まるのか？
- ・ 町からの負担は抑えてほしい。
- ・ 地域住民とのコミュニケーションを大切にしてほしい。
- ・ 今回の提案は全体的に良い。
- ・ 学校を学校として使用する提案で自然で良いと思う。
- ・ 経済的効果については不安だが、これは町が集まる学生達にどこまで対応できるかだと思ふ。
- ・ 商工業に関して、どの程度の経済効果が見込めるか疑問。
- ・ 住む所がないのに永住は・・・？
- ・ 学生数の確保が固いと見ているなかでも肝だと感じる。
- ・ 町内からの雇用や経済波及に、より力を入れて欲しい。(学生寮など)
- ・ 町との連携を図りながら早期開校に向け取り組んでもらいたい。
- ・ 提案を受け入れることで町の PR や活性化に繋がると思った。
- ・ 専門学校の認可取得ができるかという問題やスクールバスの運用方法、学生数確保と様々な課題が考えられるため、提案を受け入れた場合は開校まで時間はあるが、1つずつ進めていく必要があると思う。

以上